

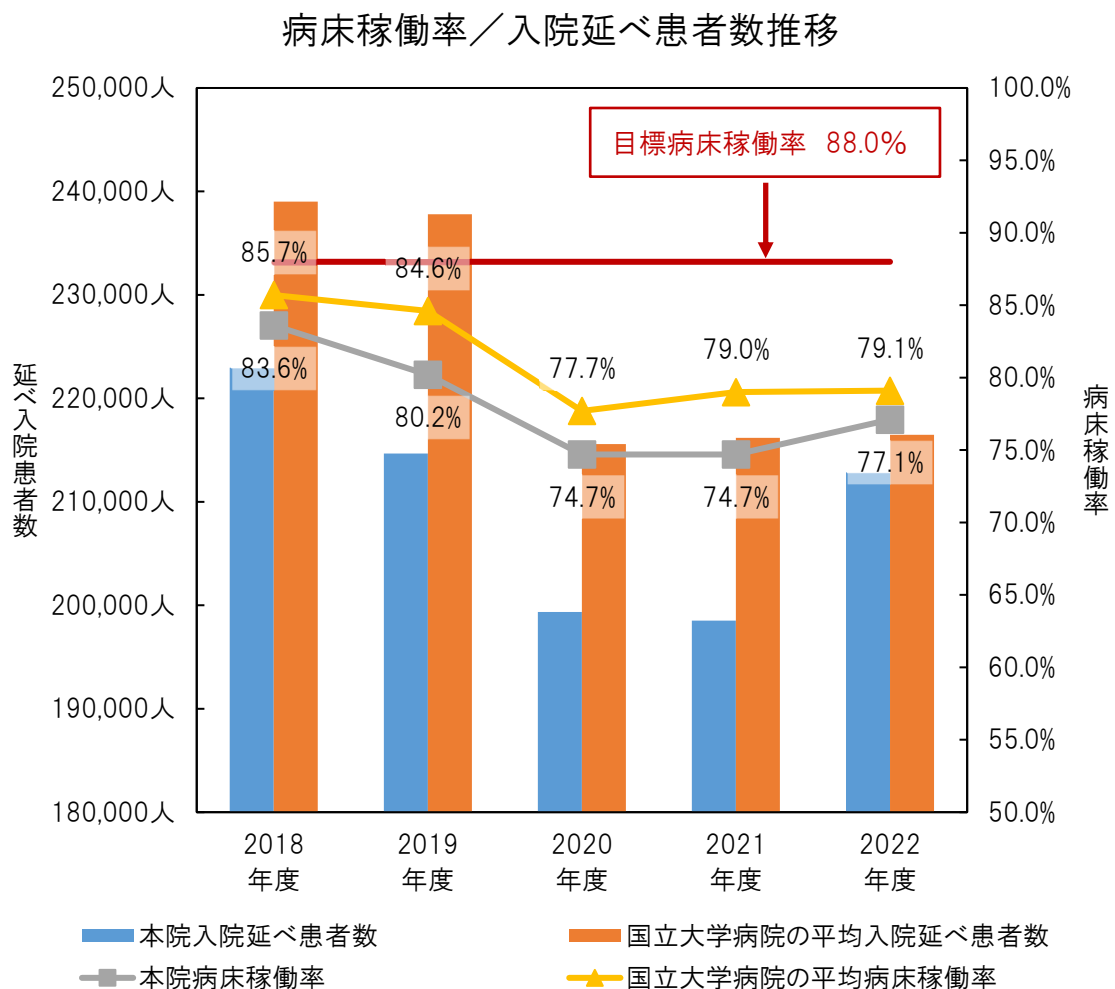
病床稼働率

概要 病床稼働率とは、使用可能な病床数に対し患者さんがどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。病床稼働率が高いことは、病床を効率的に運用していることを表しています。

病床稼働率算出方法：入院延べ患者数 ÷ {(当該年度の日数(365)) × 本院の運用病床数 731 床}

※入院延べ患者数：毎日 24 時現在の入院患者さんの人数にその日の退院患者さんの人数を加えた合計の患者数を 1 年間足し続けた数

実績



共有／フィードバック方法

病院運営会議や臨床主任会議といった各種会議等で、病院幹部や診療科等へ情報共有を行っています。また、更なる効率的な病床運用を目的として、病院戦略作業部会等で病床配置等の検討を行っていきます。

解説

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症患者の専用病床確保等により、本院の病床稼働率は低い状況です。

入院治療を必要とする患者さんの受入れ及び病院の経営を安定させる目的から、入院調整に係る効率的なベッドコントロールを徹底し、令和5年度の目標病床稼働率 88%を目指しています。

(入院延べ患者数は、病院の大きさ(病床数)により大きく数値が変わります。)